

『生活科・総合の実践ブックレット』発刊のねらい

この『生活科・総合の実践ブックレット』は、全国各地で実践されている生活科と総合的な学習の時間におけるすぐれた実践事例を、理事・地域世話人からの推薦と応募によって集め、推薦者による見所やさらなる課題や展望の解説を付して、手軽に読める冊子としてまとめたものです。

発行のねらいは、生活科と総合的な学習の「よさ」を私たち自身が確かめること、そしてそれらを広く社会に発信していくことにあります。

実践の推薦と応募に当たっては、その内容と書きぶりにおいて、次の諸点を満たすようにしてください。

- ① 意図の明確化 実践の意図やねらいが明確で生活・総合の学びの充実に役立つこと。
- ② ポイントの明確化 実践を計画・実行・評価していった教師としての悩みや工夫、判断や

決定のプロセス、展開のポイントが平易に見て取れる書きぶりであること。

- ③ ビジュアル化 児童生徒の学びの成果が、文章のみならず、作品、写真や図表等で明瞭に見て取れること。

- ④ 意味づけの明確化 当初の意図やねらいに照らして、実践の意義付けや意味づけがなされていること。

- ⑤ 執筆マナーの遵守 引用銘記で、参考文献等が挙げられ、論文執筆のマナーが守られていること。

こうした諸点を踏まえて実践をまとめていただくことによって、実践者自身にとっても、またそれを読む人にとっても、それらの実践が有する意義や価値を正しく理解していただくことが可能になると考えています。次のページの応募・執筆要領をご覧ください。ふるってご推薦・ご応募ください。

『生活科・総合の実践ブックレット』応募・執筆要領

見出しを付けるものとする。

一. 応募する実践は、日本生活科・総合的学習教育学会の会員が行ったもので、未公刊のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。

二. 応募する実践の締め切りは、毎年八月末、一月末の二回とする。

三. 応募する実践は、パソコンで作成された完全原稿に限る。原稿の長さについては、本冊子のページ数で十四ページ(図表等を含む)とする。

一ページの体裁は、A5判、縦書き・二段組、二十二字×十八行で、使用する活字は十ポイントとする。

四. 応募する実践の第一ページには、最初の上下六行分を使い、表題、執筆者氏名、所属、職名を記入し、本文は七行目から書き始める。適宜、

五. 応募する実践は、研究会企画部宛に六部(コピー可)提出する。推薦する理事・地域世話人が、「解説」(二ページ)を付け、取り纏めて送付する。併せて執筆者氏名、所属、使用したパソコンのワープロソフト名を付記した応募原稿のデータが入ったUSB又はCDを提出する。

六. 応募した実践は、別途に審議して採否が決定される。その際、一部内容の修正を求めることがある。

七. 応募する実践は、左記宛に送付すること。
〒七三九一八五二四

広島県東広島市鏡山一―一―一

広島大学大学院教育学研究科

朝倉 淳 宛

電話 ○八二―四二四―七二三〇

付記：本要領は、平成十八年十一月一日から発効する。平成二十一年三月二十四日一部改正。